

授業科目名 (英文名)	理科指導法 (Teaching method of Science IV)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	4 年次・夏期集中講義
担当教員	天野 智博	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	○理科指導法 ~ の履修を基に、理科教員として教育現場に即した授業展開ができることをねらいとする。		
講義内容・授業計画	<p>○中学校免許取得に必須科目であるので、中学校の各単元の学習内容を生徒の実態に即して指導できる実践力を 身に付けるために大きく次の3つの内容について受講生との対話重視しながら講義する。</p> <p>各校種の学習内容の関連性について 生徒の実態に即した定期考査や補助プリントの作成、板書の仕方、生徒への対応について 実験を取り入れた授業の展開と模擬授業について</p> <p>第1回：中学校と小学校の学習内容の関連性について 第2回：中学校と高等学校の学習内容の関連性について 第3回：受講生が自分の専門分野以外の単元を指導する時に抱える悩み等について 第4回：生徒からの質問等への対応や生徒指導について 第5回：実験中の事故やトラブル等に関する対処や対応について 第6回：授業で使用するワークや補助プリント等の作成について 第7回：授業内容をどの程度理解しているか評価するための小テスト等の作成について 第8回：定期考査の作成とそのねらいについて 第9回：評価と指導について 第10回：生徒の実態に即した板書の方法や板書指導について 第11回：授業の導入部分において演示実験をどのように使うかについて 第12回：生徒実験を取り入れた授業展開について 第13回：第1，2分野の模擬授業 第14回：実験結果のまとめ、考察のしかた、プレゼンについて 第15回：ICT等の活用について</p>		
テキスト	○3年次の理科指導法 で使用中・高等学校の教科書および学習指導要領解説		
参考文献	○文部科学省および各都道府県が発表している報告書等		
成績評価の基準・方法	○各回に出題する課題に対するレポート(40%)、対話を重視した講義を行うので、そのときの回答内容等(30%) 模擬授業(30%)		
履修上の注意・履修要件	<p>○中学校理科の免許を取得するものが履修している。欠席のないように。</p> <p>○出題する課題に対するレポートを必ず提出すること。</p> <p>《新型コロナウイルス感染症に伴う特別措置に基づく遠隔授業》 原則対面授業を行うが、状況によって履修者を複数の教室に分けてオンライン授業等を行うこともある。最終的には履修登録後に連絡する。</p>		
実践的教育	○35年間の教員生活およびそのうち5年間を兵庫県立大学附属中・高で勤務した経験を基に、 理科教員としての心構え、実践的な授業の進め方や生徒への対応の仕方等について、 受講生と の対話を重視しながら講義を行う。		

備考

○集中講義前に1時間のオリエンテーションを7月下旬に予定している。
新型コロナウイルス感染状況によって変更することがある。
また、教員採用試験の日程と重なった受講生には別の期日を指定する。
詳細は履修登録後に連絡する。